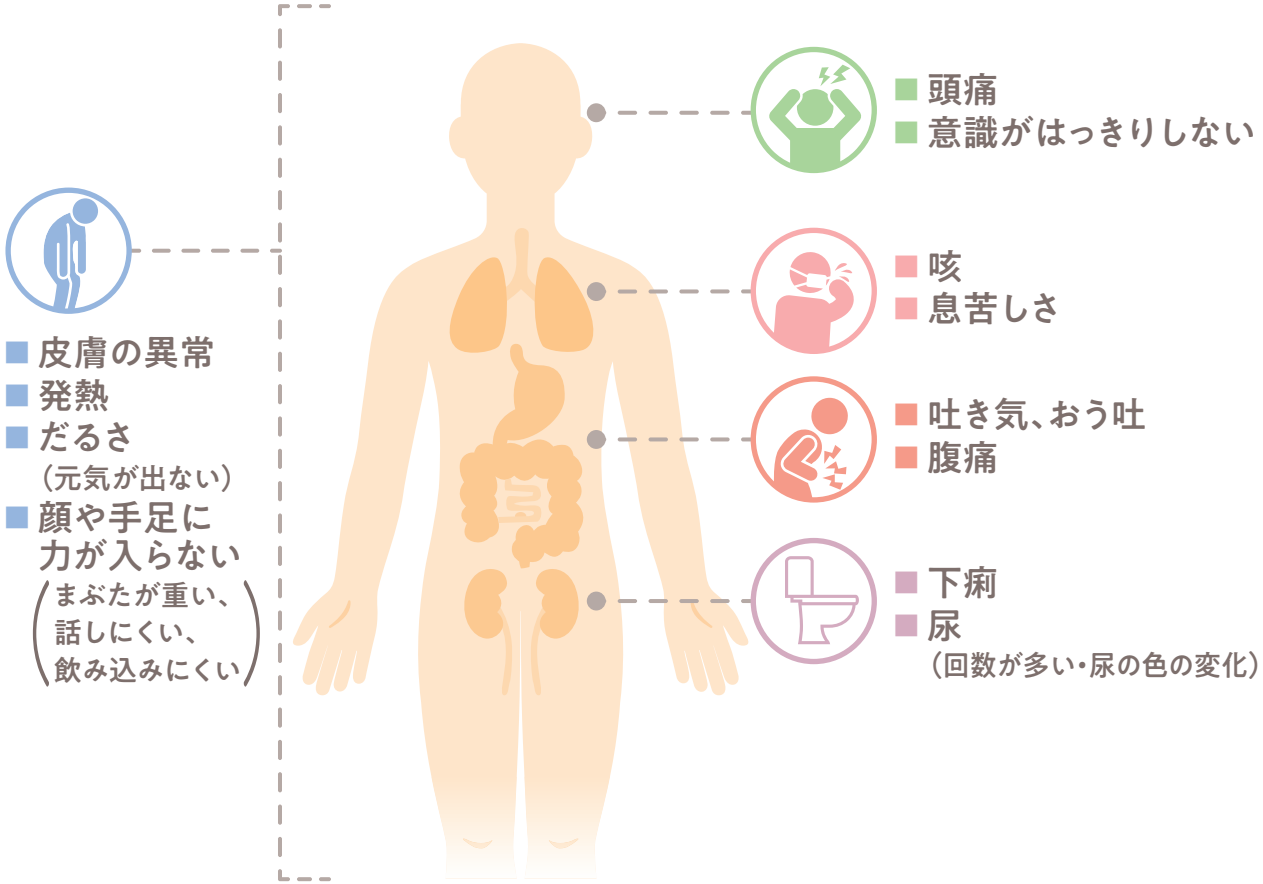
医療関係者用

免疫チェックポイント阻害薬の投与を受けている患者さんにお伺いします

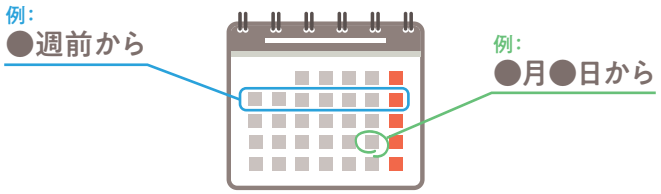
より良い状態で治療を続けられるよう、おからだの調子について教えてください

前回の投与から今日までの間に体調の変化はありますか？



症状はどの程度つらいですか？

症状はいつからありましたか？



他に気になる点がありましたら教えてください

監修 野口 哲男 先生（市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長）

アストラゼネカ株式会社

IOLC953@A
2023年6月作成

「つたわる君」とは

「つたわる君」は、患者さんが表現しづらかったり、忘れてしまいやすい症状を拾い上げるための「説明ボード」「問診票」「irAE逆引きマニュアル」が一体化したコミュニケーションサポートツールです。重要度の高い8つの症状にフォーカスし、症状がイメージしやすいイラストで患者さんに振り返っていただきやすくしました。把握した症状をもとに「irAE逆引きマニュアル」で発現が疑われるirAEを推測できます。

患者さんが抱える悩み

症状を表現しづらかったり、
忘れてしまったりすることがあります

「つたわる君」を用いて患者さんの悩みを解消

1 問診前に医療従事者が症状を確認

患者さんが表現しづらい又は発現したことを忘れがちな症状を、医療従事者が確認することで具体化したり、思い出しをサポートします

2 問診票に患者さん自身で記入 医療従事者間の申し送りに使用

「つたわる君」を用いて、
医療従事者間の申し送りにも活用できます。

3 逆引きマニュアルでirAEを推測

各irAEに起こり得る症状を更に確認することで、
発現が疑われるirAEを推測することができます。

「つたわる君」活用にあたってのポイント

監修 野口 哲男 先生（市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長）

免疫チェックポイント阻害薬の普及と共にirAEの早期発見がより重要になってきました。しかし、医療従事者に遠慮したり、治療変更を危惧して症状が出ていることを伝えづらい患者さんもおられます。
「つたわる君」はそうした患者さんの潜在的な困りごとを解決するために作成されました。是非、このツールを活用いただきながら、患者さんに気になることがないかお声掛けをお願いいたします。
「つたわる君」がirAEの早期発見・早期治療介入につながることを期待しています。

免疫チェックポイント阻害薬の投与を受けている患者さんにお伺いします

より良い状態で治療を続けられるよう、おからだの調子について教えてください

気になる点があれば1から順にチェック☑と記入をしてください

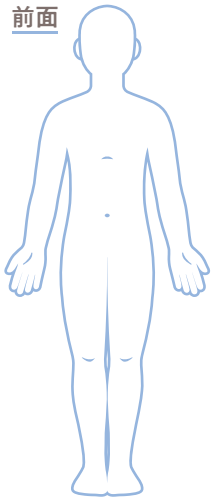
1 前回の投与から今日までの間に体調の変化はありますか	2 症状はどの程度つらいですか? 気のせいかもしれない	少し気になる	我慢できる	我慢できない	3 症状はいつからありましたか?
☐ 皮膚の異常	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 発熱	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ だるさ(元気が出ない)	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 顔や手足に力が入らない(まぶたが重い、話しにくい、飲み込みにくい)	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 頭痛	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 意識がはっきりしない	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 咳	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 息苦しさ	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 吐き気、おう吐	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 腹痛	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 下痢	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐ 尿(回数が多い・尿の色の変化)	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から

他に気になる点がありましたらご記入ください

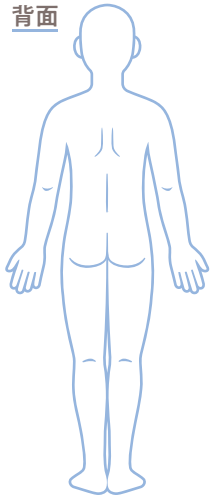
「皮膚の異常」にチェックをされた方

その場所にしるしをつけてください

前面



背面



監修 野口 哲男 先生(市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長)

記入例

免疫チェックポイント阻害薬の投与を受けている患者さんにお伺いします

より良い状態で治療を続けられるよう、おからだの調子について教えてください

気になる点があれば1から順にチェック☑と記入をしてください

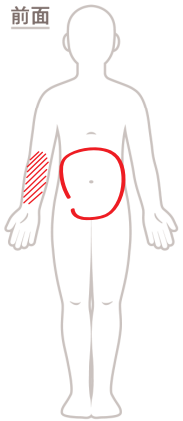
1 前回の投与から今日までの間に体調の変化はありますか	2 症状はどの程度つらいですか? 気のせいかもしれない	少し気になる	我慢できる	我慢できない	3 症状はいつからありましたか?
☑皮膚の異常	☐	☑	☐	☐	___週前(5月 1日)から
☐発熱	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☑だるさ(元気が出ない)	☐	☐	☑	☐	2週前(___月 ___日)から
☐顔や手足に力が入らない(まぶたが重い、話しにくい、飲み込みにくい)	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐頭痛	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐意識がはっきりしない	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐咳	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐息苦しさ	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐吐き気、おう吐	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐腹痛	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐下痢	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から
☐尿(回数が多い・尿の色の変化)	☐	☐	☐	☐	___週前(___月 ___日)から

他に気になる点がありましたらご記入ください　口内炎があり、ごはんが食べにくい

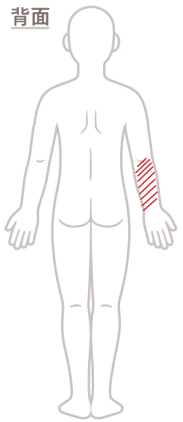
「皮膚の異常」にチェックをされた方

その場所にしるしをつけてください

前面



背面



監修　野口 哲男 先生(市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長)

発熱

発熱の他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
痰の出ない咳、息苦しさ、胸痛	間質性肺疾患
頭痛、吐き気、意識レベル低下、首を前に曲げにくい、けいれん、寒気、記憶障害、行動や言動の異常	脳炎・髄膜炎
だるさ、皮膚や白目が黄色い、吐き気、かゆみ、食欲不振、腹痛、尿の色の変化（濃い色）、眠気、内出血しやすい 、血が止まりにくい	肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
意識レベル低下、吐き気、無気力感、めまい、だるさ、不安、性格変化、おう吐、腹痛、食欲不振、脱力感、血圧低下、色素沈着、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重増加、便秘、抜け毛	副腎障害
下肢のむくみ、脇腹痛、尿量減少、吐き気、関節痛、下痢、体重減少、血尿、食欲不振	腎障害
背部痛、吐き気、皮膚や白目が黄色い、腹痛	膵炎
口渇、多飲、トイレが近い、だるさ、吐き気、腹痛、意識レベル低下、疲れやすい、低血圧	1型糖尿病
筋肉痛、脱力感、尿が赤茶色、筋力の低下、だるさ、痛み	筋炎・横紋筋融解症
頭痛、息苦しさ（動作時の息切れ）、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、咳、だるさ、胸痛、動悸	心筋炎
水ぶくれ、目の充血、粘膜（くちびる・陰部など）のただれ、口内炎、皮膚の広い範囲の赤み・はれ	皮膚障害
だるさ、けいれん、点状出血、腹部のはり、下痢、顔のむくみ	血球どん食症候群
寒気、のどの痛み	無顆粒球症
かゆみ、発疹、息苦しさ、寒気、ふるえ、めまい、皮膚が赤くなる、意識レベル低下、背中や首の痛み、顔がはれる	薬剤の注入に伴う反応

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。

だるさ

だるさの他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
吐き気、皮膚や白目が黄色い、発熱、かゆみ、食欲不振、腹痛、尿の色の変化（濃い色）、眠気、内出血しやすい 、血が止まりにくい	肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
無気力感、不安、吐き気、めまい、意識レベル低下、性格変化、発熱、おう吐、腹痛、食欲不振、脱力感、血圧低下、色素沈着、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重増加、便秘、抜け毛	副腎障害
多飲、物が見えにくい（めまい・意識がうすれる）、口渇、頭痛、乳汁分泌、トイレが近い、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重減少、抜け毛	下垂体障害
まぶたがはれる、皮膚乾燥、体重増加、寒がり（冷えを感じる）、脱力感、便秘、脈が遅い、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、声の変化	甲状腺機能低下症
口渇、多飲、トイレが近い、発熱、吐き気、腹痛、意識レベル低下、疲れやすい、低血圧	1型糖尿病
頭痛、息苦しさ（動作時の息切れ）、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱、咳、胸痛、動悸	心筋炎
水ぶくれ、口内炎、目の充血、発熱、粘膜（くちびる・陰部など）のただれ、皮膚の広い範囲の赤み・はれ	皮膚障害
めまい、脈が速い、息苦しさ、頭痛、顔色が悪い、白目が少し黄色い	溶血性貧血
めまい、脈が速い、息苦しさ、頭痛、顔色が悪い	赤芽球ろう
発熱、けいれん、点状出血、腹部のはり、下痢、顔のむくみ	血球どん食症候群
鼻血、点状や斑状の皮下出血（青あざ）、歯茎の出血、血が止まりにくい、血尿、月経過多	免疫性血小板減少性紫斑病

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。

手足の脱力

手足の脱力の他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
飲み込みにくい、手足のしびれ、眼球運動障害、痛み、息苦しさ、顔の筋肉が動きにくい	神経障害（ギラン・バレー症候群など）
まぶたが垂れ下がる、顔の筋肉が動きにくい、息苦しさ、肩・腰などの脱力、ろれつが回りにくい、物が見えにくい、感覚がにぶくなる、食べ物がうまく噛めない、飲み込めない、頭が持ち上がらない、筋力の低下	重症筋無力症
筋肉痛、発熱、尿が赤茶色、筋力の低下、だるさ、痛み	筋炎・横紋筋融解症
無気力感、不安、性格変化、吐き気、意識レベル低下、発熱、おう吐、腹痛、だるさ、食欲不振、血圧低下、色素沈着、めまい、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重増加、便秘、抜け毛	副腎障害
まぶたがはれる、皮膚乾燥、体重増加、だるさ、便秘、脈が遅い、寒がり（冷えを感じる）、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、声の変化	甲状腺機能低下症

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。

頭痛

頭痛の他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
多飲、物が見えにくい、口渇、乳汁分泌、トイレが近い、だるさ、めまい、意識レベル低下、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重減少、抜け毛	下垂体障害
吐き気、意識レベル低下、首を前に曲げにくい、けいれん、発熱、寒気、記憶障害、行動や言動の異常	脳炎・髄膜炎
発熱、息苦しさ（動作時の息切れ）、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、咳、胸痛、だるさ、動悸	心筋炎
めまい、息苦しさ、脈が速い、だるさ、顔色が悪い、白目が少し黄色い	溶血性貧血
めまい、息苦しさ、脈が速い、だるさ、顔色が悪い	赤芽球ろう

意識レベル低下

意識レベル低下の他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
頭痛、吐き気、首を前に曲げにくい、けいれん、発熱、寒気、記憶障害、行動や言動の異常	脳炎・髄膜炎
だるさ、無気力感、吐き気、めまい、不安、性格変化、発熱、おう吐、腹痛、食欲不振、脱力感、血圧低下、色素沈着、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重増加、便秘、抜け毛	副腎障害
口渇、多飲、トイレが近い、発熱、だるさ、吐き気、腹痛、疲れやすい、低血圧	1型糖尿病
かゆみ、発疹、息苦しさ、寒気、発熱、ふるえ、めまい、皮膚が赤くなる、背中や首の痛み、顔がはれる	薬剤の注入に伴う反応

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。

息苦しさ

息苦しさの他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
痰の出ない咳、発熱、胸痛	間質性肺疾患
手足の脱力、しびれ、飲み込みにくい、痛み、眼球運動障害、顔の筋肉が動きにくい	神経障害（ギラン・バレー症候群など）
まぶたが垂れ下がる、顔の筋肉が動きにくい、手足・肩・腰などの脱力、ろれつが回りにくい、物が見えにくい、感覚がにぶくなる、食べ物がうまく噛めない、飲み込めない、頭が持ち上がらない、筋力の低下	重症筋無力症
発熱、頭痛、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、咳、胸痛、だるさ、動悸	心筋炎
めまい、脈が速い、だるさ、頭痛、顔色が悪い、白目が少し黄色い	溶血性貧血
めまい、脈が速い、だるさ、頭痛、顔色が悪い	赤芽球ろう
食欲の亢進、頻脈、手指のふるえ、体重減少、汗を多くかく	甲状腺機能亢進症
かゆみ、発疹、寒気、発熱、ふるえ、めまい、皮膚が赤くなる、意識レベル低下、背中や首の痛み、顔がはれる	薬剤の注入に伴う反応

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。

吐き気

吐き気の他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
下痢、便の異常（黒色便・血便）、腹痛、おう吐、排便回数の増加	大腸炎・消化管穿孔
皮膚や白目が黄色い、だるさ、発熱、かゆみ、食欲不振、腹痛、尿の色の変化（濃い色）、眠気、内出血しやすい 、血が止まりにくい	肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎
意識レベル低下、だるさ、無気力感、めまい、不安、性格変化、発熱、おう吐、腹痛、食欲不振、脱力感、血圧低下、色素沈着、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重増加、便秘、抜け毛	副腎障害
下肢のむくみ、脇腹痛、尿量減少、発熱、関節痛、下痢、体重減少、血尿、食欲不振	腎障害
背部痛、発熱、皮膚や白目が黄色い、腹痛	膵炎
頭痛、意識レベル低下、首を前に曲げにくい、けいれん、発熱、寒気、記憶障害、行動や言動の異常	脳炎・髄膜炎
口渇、多飲、トイレが近い、発熱、だるさ、腹痛、意識レベル低下、疲れやすい、低血圧	1型糖尿病
頭痛、息苦しさ（動作時の息切れ）、腹痛、おう吐、下痢、発熱、咳、胸痛、だるさ、動悸	心筋炎

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。

腹痛

腹痛の他に以下の症状がないかを確認してください。
（青字はirAEを推測する上で特に注意していただきたい症状です。確認の際、参考になさってください。）

症状	疑われる病名
下痢、便の異常（黒色便・血便）、吐き気、おう吐、排便回数の増加	大腸炎・消化管穿孔
背部痛、発熱、皮膚や白目が黄色い、吐き気	膵炎
下肢のむくみ、尿量減少、吐き気、発熱、関節痛、下痢、体重減少、血尿、食欲不振	腎障害
無気力感、不安、吐き気、めまい、意識レベル低下、だるさ、性格変化、発熱、おう吐、食欲不振、脱力感、血圧低下、色素沈着、気分や行動の変化（興奮、忘れやすいなど）、体重増加、便秘、抜け毛	副腎障害
口渇、多飲、トイレが近い、発熱、だるさ、吐き気、意識レベル低下、疲れやすい、低血圧	1型糖尿病
発熱、頭痛、吐き気、おう吐、下痢、咳、だるさ、息苦しさ（動作時の息切れ）、胸痛、動悸	心筋炎

irAE逆引きマニュアル ver.4.0（©市立長浜病院 呼吸器内科 責任部長　野口 哲男 先生）より一部改変

「irAE逆引きマニュアル」とは

「irAE逆引きマニュアル」は、重要度の高い8つの症状（発熱、だるさ、手足の脱力、頭痛、意識レベル低下、息苦しさ、吐き気、腹痛）にフォーカスし、症状から発現が疑われるirAEを推測するツールです。あくまでirAE対策の1つの参考ツールであり、検査データ、診察、画像データなども含めて総合的に診断してください。